

1 子供たちの体験機会の実施状況

<生涯学習部>

事業名	概要・目的
青少年健全育成事業 ①ふなばしハッピーサタデー ②キャンプ場イベント	①子供たちがスポーツや文化活動に親しむことにより、豊かで健全な心身を培うことを目的とし、市内26の全公民館が地域の団体、町会・自治会、学校との連携を図りながら、子供たちがスポーツや文化活動などに親しめるよう多種様々な事業を実施する。 ②船橋市立大神保青少年キャンプ場を利用したデイキャンプや自然体験を実施して、青少年の健全育成を図るとともに、青少年キャンプ場の利用促進及び、新規利用者の開拓を図る。
	【内容】 ①軽スポーツ(ボッチャ、モルック)・工作(手作りおもちゃ、木工)・料理(そば打ち、お菓子づくり)等を実施 ②レクリエーション(ターザンロープ、スラックライン、ハンモック、水遊び)・かまど調理体験・ネイチャーゲーム(森林散策)・クラフト(どんぐりクラフト、バードコール)等を実施



☆ふなばしハッピーサタデー

<協力者>

公民館利用団体
 スポーツ推進委員
 青少年相談員 など

<令和4年度実績>

256事業 13,520人

<プログラム>

○小学生向けに軽スポーツ、料理、学習などの体験機会を提供。子どもたちの休日の居場所づくり、青少年の健全育成が目的。各公民館で月1回程度実施。

<活動の様子>

毎回子供たちが興味関心を引く内容になるよう、各公民館で趣向を凝らし、実施している。児童は指導者の話を真剣に聞き、普段家庭や学校で体験することのない内容に熱心に取り組む様子が見られる。



☆キャンプ場イベント(6事業11回)

R5.8月~R6.1月(予定)

<協力者>

ボーイスカウト船橋市連絡協議会
 船橋市レクリエーション協会・プレーパーク船橋など

<参加児童>

子ども125名 保護者131名(3事業5回終了時点)


<プログラム>

○プレーパーク船橋やボーイスカウト船橋市連絡協議会などの団体を講師として招き実施。プログラムはそれぞれ異なるが、かまどを使用した料理体験や、キャンプ場の中を歩く森林散策はキャンプ場イベントならではのプログラムであり、人気がある。

<活動の様子>

ノコギリでの薪づくりや火おこしなど参加者に体験をしていただくものから、参加者同士の仲を深めるレクリエーションまで様々なプログラムを行っている。事業終了後のアンケートでは「楽しかった」「また参加したい」などの声をいただいている。

<生涯学習部>

事業名	概要・目的
<p>ふなっこ未来大学</p>  <p>ふなっこ未来大学 Funaverity</p>	<p>近隣に理系の学部を持つ大学が複数存在するといった本市の特色を活かして、大学教授や大学生による専門分野に関する講座を実施し、わくわくするような体験機会を提供することにより、子どもたちが主体的に考え、学びに向かう力を育み、将来の夢や目標を持ち、自己肯定感を高めるきっかけとする。</p> <p>【内容】 平成 26 年 4 月に包括連携協定を締結した東邦大学の理学部と連携し、理数系分野を中心とした観察や実験を行う。</p> <p>●期間:R5 8/22~8/25(4 日間) ●対象:小学校 6 年生 ●参加者:42 名 ●講座:生物、地学、物理、化学</p>

【講座内容】

生物



顕微鏡でのぞく、 美しい生物の世界

光学顕微鏡を使用して、コケの葉や、染色した細胞の観察を行う

地学



液状化と火砕流の実験から 防災を考えよう

地震で発生する液状化現象と、火山が噴火した際に発生する火砕流を再現する

物理



冷えるとどうなる？ -196℃の世界

液体窒素を使って、様々な実験を行う

化学



カラフルな人エイクラを 作ってみよう

化学反応によって、本物のイクラのような人ロイクラを作る

【参加者の声】

「学校ではできない実験が多くてすごくワクワクした。」「理科はあまり好きじゃなかったけど、たくさん実験をして理科が好きになった。」

「大学の先生や大学生の皆さんが優しく教えてくれて本当に楽しかった。」「大学生になったような気分でも楽しかった。」

「4日間とても楽しい実験ができて、また来たいと思った。」「理科の知らないところまで深く知れたので、すごくためになった。」

【成果】

93%の参加者が「受講前と比べて理科がもっと理科が好きになった」と回答。(令和4年度は87%)

<生涯学習部>

事業名	概要・目的
文化課事業	令和4年3月に策定した「第2次船橋市文化振興基本方針」では、基本目標の一つとして「育みつながる」を掲げており、子供たちが船橋の歴史、自然や文化を学ぶ機会を充実させることで、「ふるさと船橋」を誇りに思い、大切に作る気持ちが育まれるよう取り組んでいる。

☆対話型鑑賞教育事業



<事業内容>

文化・スポーツ公社が、退職校長等を対象にファシリテーター養成講座を開催。修了生を各学校に派遣し、アートカードによるグループワークの対話型鑑賞教育事業を実施する。本市は当該事業に対して補助金を交付する。

<実績・予定>

- 令和4年度(試行)
小学校3校+ファシリテーター17人養成
- 令和5年度
小学校10校+ファシリテーター20人養成

☆展覧会に係る学校連携事業



<事業内容>

出張美術展や所蔵作品展に関連して、アーティストを学校に派遣し、ワークショップを実施。また、展覧会見学会では、作品の前で学芸員がファシリテーターとなり対話型鑑賞等を行っている。

<実績・予定>

- 令和4年度
市所蔵作品展(海神小、湊町小、船橋小 5・6年生)
- 令和5年度
出張美術展(薬円台小、薬円台南小 5年生)
市所蔵作品展(海神小、湊町小、船橋小 5・6年生)

☆文化活動普及事業



<事業内容>

通常の授業では体験できない文化活動を子ども達の身近な環境で体験してもらうことを目的として、芸術、文学、音楽、舞踊、伝統芸能などの分野のプロのアーティスト等を、市内の小中学校等に派遣し授業を行っている。

<実績・予定>

- 令和4年度
小学校10校、県立特支にて、三味線、書道、和太鼓、パントマイムなどの体験型授業を実施
- 令和5年度
小学校16校、中学校3校、市立特支にて、三味線、能、書道、ダンス、和太鼓、パントマイム、打楽器などの体験型授業を実施